

## 令和3年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

### <事業概要>

当法人は、地域の関係機関と緊密に連携・調整を図りながら、夜間・休日における初期救急医療としての夜間休日救急診療所の運営、疾病の早期発見・早期治療に繋げる健診事業や健診結果を踏まえた事後支援事業を実施する健診センターの運営、また、医療従事者の安定的な確保に向けた地域医療従事者の養成を目的とした准看護高等専修学校や歯科衛生士専門学校を一体的に実施し、市民の皆様の健康維持・増進を図り、安全で安心な医療を受けられる環境を提供するとともに、地域医療の発展に寄与することを目的として各事業を推進しています。

まず、夜間休日救急診療所においては、急病患者的初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として、宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、管理運営を行っており、令和3年度においても、季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症に適切に対応するため、「休日診発熱外来臨時検査室」を設置し、同時抗原検査を実施したところ。令和3年度の患者数については、延べ9,517人、前年度比775人、8.9%の増となりました。

健診センターにおいては、疾病を早期に発見し、早期に治療を促すため、市内の事業所等を対象とした「事業所健診」や市から受託している市民の皆様を対象とした「住民健診」のほか、児童・生徒を対象とした「子ども健診」等の各種健康診断の実施など市民の皆様の健康維持・増進に向けた事業を推進しております。これらの健康診断受診者の総件数については、延べ100,409件、前年度比7,290件、7.8%の増となりました。

また、令和3年度は、希望する市民の皆様に対し、速やかに新型コロナウイルスワクチン接種が受けられるよう市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会等の協力を得、集団接種会場を49日開設し、延べ12,974人にワクチン接種を実施しました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。

また、資格取得の支援及び就業支援に積極的に取り組み、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

# 1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、毎夜間と日曜祝日の昼間に診療所を開設しております。

また、令和3年12月30日から令和4年1月3日までの5日間の昼間帯に、季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の同時抗原検査を実施するための「休日診発熱外来臨時検査室」を設置し、感染拡大の防止や、医療供給体制の確保に努めたところです。

令和3年度の診療所実施状況については、昼間診療を73日、夜間診療(準夜・深夜)を365日実施し、医科・歯科を合わせた総患者数は、前年度比775人増の延べ9,517人と僅かに増加しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度と比較すると低い利用水準となっております。

新型コロナウイルスの感染防止策については、診療スタッフの防護具の適正着用を徹底するとともに、感染疑いの患者が来所した場合は、タブレット端末を用いた遠隔診療やコンテナを活用し一般の患者と導線を分離した診療を実施しています。

## (1) 実施状況

### ア 診療日、診療時間、受付時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	受付時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	午前8時30分～午前11時30分 午後0時30分～午後4時30分	73日
		旧盆(8/13～15)			
		年末年始(12/30～1/3)			
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	午後7時～翌朝午前6時30分	365日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	午後7時～午後11時30分	

### イ スタッフ動員数

#### ①通常診療

(単位：人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合計	前年度比較	
								動員数	増減
昼間	220	85	188	356	97	315	1,241	1,298	△ 57
準夜	798	378	465	1,235	391	879	4,146	4,179	△ 33
深夜	730	-	365	730	-	365	2,190	2,190	0
合計	1,748	463	998	2,321	488	1,559	7,577	7,667	△ 90
前年度	1,796	468	1,004	2,322	497	1,580	7,667		
増減	△ 48	△ 5	△ 6	△ 1	△ 9	△ 21	△ 90		

#### ②休日診発熱外来臨時検査室

(単位：人)

区分	医師	看護師	臨床検査技師	合計
昼間	0	0	20	20
前年度	28	28	56	112
増減	皆減	皆減	△ 36	△ 92

ウ 医科患者利用状況

医科における令和3年度の患者数については、前年度比790人、10.9%増の8,013人となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度と比較すると低い利用水準となっています。

インフルエンザは、例年12月から流行期に入り、1月にピークを迎えますが、令和3年度は、前年度と同様、全国的に流行が起きず、当診療所を受診したインフルエンザ患者数は皆減（前年度比5人減）となりました。

また、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に対応するため、「休日診発熱外来臨時検査室」を令和3年12月30日～令和4年1月3日の昼間帯に開設し、5日間で147名の抗原検査を実施しました。

① 医科月別受診者数

(単位：人)

区分	R3年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年	1月	2月	3月	合計	前年度比較		
																日数	増減	
																	患者数	増減率(%)
昼間	日数	5	8	4	6	8	6	5	6	6	8	6	5	73	74	△1		
	患者数	149	351	99	297	311	134	122	160	225 (63)	322 (84)	93	122	2,385 (147)	2,123 (178)	262 (△31)	12.3 (△17.4)	
	1日平均	29.8	43.9	24.8	49.5	38.9	22.3	24.4	26.7	37.5	40.3	15.5	24.4	32.7	28.7	4.0	13.9	
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	366	365	0		
	患者数	313	356	358	529	385	282	288	331	321	319	178	260	3,900	3,529	371	10.5	
	1日平均	10.4	11.5	11.9	17.1	12.4	8.7	9.3	11.0	10.4	10.3	6.4	8.4	10.7	9.7	1.0	10.5	
深夜	日数	137	185	162	222	171	136	136	145	124	119	87	105	1,728	1,571	157	10.0	
	患者数	137	185	162	222	171	136	136	145	124	119	87	105	1,728	1,571	157	10.0	
	1日平均	4.6	6.0	5.4	7.2	5.5	4.5	4.4	4.8	4.0	3.8	3.1	3.4	4.7	4.3	0.4	10.0	
合計		599	892	619	1,048	867	532	645	636	670	760	358	487	8,013	7,223	790	10.9	
前年度		493	606	527	619	838	649	594	644	666	695	387	505	7,223				
増減		106	286	92	429	29	△117	△49	△8	4	65	△29	△18	790				
増減率(%)		21.5	47.2	17.5	69.3	3.5	△18.0	△8.2	△1.2	0.6	9.4	△7.5	△3.6	10.9				

※ 12月、1月の括弧内の数字は患者数のうち「休日診発熱外来臨時検査室」の受診者数。

② インフルエンザ患者数 (単位：人)

令和2年度	令和3年度	増減	
		増減率(%)	
5	0	皆減	△100.0

③ 医科患者転送状況 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	7,661	352	8,013
構成比	95.6%	4.4%	100%
前年度	6,938	285	7,223
増減	723	67	790
増減率(%)	10.4	23.5	10.9

## ④転送機関別内訳

(単位:人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨協	自治	その他	合計
	済生会	NHO栃	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇東	宇第一				
転送数	179	56	36	42	2	5	2	0	0	0	19	5	6	352
構成比	50.9%	15.9%	10.2%	11.9%	0.6%	1.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	1.4%	1.7%	100%
前年度	147	57	18	37	4	2	1	0	1	0	9	3	6	285
増減	32	△1	18	5	△2	3	1	0	△1	0	10	2	0	67
増減率(%)	21.8	△1.8	100.0	13.5	△50.0	150.0	100.0	-	△100.0	-	111.1	66.7	0.0	23.5

※後方2次病院…重症者又は入院を必要とする患者の転送先

後方1.5次病院…重症ではないが点滴等が必要で、当所の診療時間内に診療が終了しないと判断した患者等の転送先

## ⑤感染症疑い患者診療方法別受診件数

診療方法 \ 診療科目	内科	小児科	合計
タブレット	1,159	325	1,484
コンテナ	39	1,197	1,236
患者車内	263	577	840
合計	1,461	2,099	3,560
前年度	1,239	999	2,238
増減	222	1,100	1,322
増減率(%)	17.9	110.1	59.1

エ 歯科患者利用状況

歯科における令和3年度の患者数については、前年度比15人、1.0%減の1,504人とほぼ前年度と同程度でしたが、令和元年度からは低減傾向が継続しています。

① 歯科月別受診者数

(単位:人)

区分	R3年												合計	前年度比較			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	増減	増減率(%)	
	R4年																
昼間	日数	5	8	4	6	8	6	5	6	6	8	6	5	73	74	△1	
	患者数	26	64	15	26	72	24	29	35	95	113	22	31	552	556	△4	△0.7
	1日平均	5.2	8.0	3.8	4.3	9.0	4.0	5.8	5.8	15.8	14.1	3.7	6.2	7.6	7.5	0.0	0.6
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365	0	
	患者数	62	95	72	82	103	62	73	70	99	100	72	62	952	963	△11	△1.1
	1日平均	2.1	3.1	2.4	2.6	3.3	2.1	2.4	2.3	3.2	3.2	2.6	2.0	2.6	2.6	△0.0	△1.1
合計	88	159	87	108	175	86	102	105	194	213	94	93	1,504	1,519	△15	△1.0	
前年度	87	168	85	110	200	142	79	123	174	156	89	106	1,519				
増減	1	△9	2	△2	△25	△56	23	△18	20	57	5	△13	△15				
増減率(%)	1.1	△5.4	2.4	△1.8	△12.5	△39.4	29.1	△14.6	11.5	36.5	5.6	△12.3	△1.0				

② 歯科患者転送状況 (単位:人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	1,489	15	1,504
構成比	99.0%	1.0%	100%
前年度	1,503	16	1,519
増減	△14	△1	△15
増減率(%)	△0.9	△6.3	△1.0

③ 転送機関別内訳 (単位:人)

区分	NHO栃木	獨協	自治	その他	合計
転送数	1	13	1	0	15
構成比	6.7%	86.6%	6.7%	0.0%	100%
前年度	7	9	0	0	16
増減	△6	4	1	0	△1
増減率(%)	△85.7	44.4	-	-	△6.3

(2) 診療体制

市民の皆様のニーズを踏まえた初期救急としての医療サービスを提供するため、新型コロナウイルス感染症の感染予防策の徹底を図るとともに、関係医療機関との連携を図りながら体制の充実・強化に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を図りました。

イ 後方2次病院及び後方1.5次病院をはじめ、協力医療機関との連携を図り、患者の円滑な転送に取り組みました。

ウ スタッフの配置については、適切なサービスの提供を前提として、実績や社会環境等を踏まえ、効果的・効率的なスタッフの配置に取り組みました。

エ 感染防止の徹底を図るため、タブレット端末を活用した遠隔診療や、サージカルマスク・キャップ・ゴーグル・フェイスシールド・ガウン・手袋等を装着した診療のほか、感染症の疑いがある患者を診察する陰圧装置を配置したコンテナにおいて、一般の患者との動線を分離するなど、診療所内の感染予防策の徹底に取り組みました。

オ 医療サービス向上のため、4月、8月、12月に、看護師、歯科衛生士、事務員を対象に繁忙期の診療体制の確認、緊急時の対応、医療機器の取扱等の研修を実施しました。また、3月31日に薬剤師を対象とした研修をリモート方式により開催いたしました。

(3) 普及・啓発活動

市民の皆様に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため、以下の取り組みを実施しました。

ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において、「救急医療の適正受診」に関することや、「夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方」について周知活動を行いました。

イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク、旧盆、年末年始における夜間休日救急診療所の利用の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また、新聞折り込みにおいても、健康維持に関する啓発記事を、年2回(7月、10月)掲載しました。

ウ 公共機関等での啓発活動

保護者を対象に、夜間休日救急診療所の利用の仕方や症状に応じた対処法のチラシを子育てサロンの利用者や「赤ちゃん訪問(市保健師訪問指導)」時に配布しました。

## 2 健診センター部門

当健診センターは、市民の皆様の健康維持・増進を図るため、健診事業、健康支援事業、地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信、普及・啓発活動等を実施しております。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症への対策を継続しながら、中小事業所の従業員を中心とした事業所健診、市民を対象とした住民健診及び普及・啓発活動等の各種公益目的事業を推進するとともに、希望する市民の皆様に対し、速やかに新型コロナウイルスワクチン接種が受けられるよう市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会等の協力を得、集団接種会場を49日開設し、延べ12,974人にワクチン接種を実施しました。

健診事業においては、国や市における健診受診に関する周知活動の強化や各事業所への働きかけなどにより、事業所健診、住民健診、子ども健診の合計は、前年度比7,290件増の100,409件となりました。

また、健康支援事業では、事業所健診及び住民健診における特定保健指導の同日実施を行なったことなどにより、健康支援事業全体で前年度比461件増の3,480件の実施となりました。これらの健診事業すべてにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度と比較すると低い利用水準となっています。

また、感染症対策、受診率の向上、経費の削減など、安定的・効果的な事業実施に向けた課題への対応について、継続的に検討を行いました。

### (1) 健診事業

#### 健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別	令和3年度		令和2年度		増減		
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)	
ア 事業所健診	定期健康診断	20,384	20.3	19,682	21.1	702	3.6
	生活習慣病予防健診	11,281	11.2	11,301	12.1	△20	△0.2
	人間ドック	1,634	1.6	1,650	1.8	△16	△1.0
	特殊健康診断	3,230	3.2	2,991	3.2	239	8.0
	結核検診	3,863	3.8	4,181	4.5	△318	△7.6
	その他の健診	1,788	1.8	2,461	2.6	△673	△27.3
	ストレスチェック	5,115	5.1	5,409	5.8	△294	△5.4
	小計	47,295	47.1	47,675	51.2	△380	△0.8
イ 住民健診	節目健診	2,331	2.3	2,078	2.2	253	12.2
	地区健診	6,535	6.5	5,443	5.8	1,092	20.1
	地区巡回健診	8,771	8.7	7,450	8.0	1,321	17.7
	乳がん検診	6,396	6.4	5,207	5.6	1,189	22.8
	子宮がん検診	5,013	5.0	4,222	4.5	791	18.7
	特定健康診査単独	158	0.2	259	0.3	△101	△39.0
	結核検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他の健診	60	0.1	123	0.1	△63	△51.2
	小計	29,264	29.1	24,782	26.6	4,482	18.1
ウ 子ども健診	心臓検診	13,883	13.8	13,869	14.9	14	0.1
	結核検診	4,567	4.5	3,556	3.8	1,011	28.4
	その他の健診	5,400	5.4	3,237	3.5	2,163	66.8
	小計	23,850	23.8	20,662	22.2	3,188	15.4
合計	100,409	100.0	93,119	100.0	7,290	7.8	

※ 構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

## ア 事業所健診

事業所健診については、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、各事業所に対し積極的な働きかけを行うとともに、調整に最善をつくり、健診事業を推進しました。こうした各事業所への働きかけや周知活動の取り組みにより、定期健康診断や特殊健康診断においては、回復傾向となりました。一方で国が令和元年度より3ヶ年の事業として推進している風疹抗体検査において最終年となる令和3年度は、受診者数が減少し、事業所健診全体で前年度比380件、0.8%減の47,295件の実施となりました。

## イ 住民健診

宇都宮市から受託している住民健診については、国や市において周知活動の強化を図るとともに、前年度に引き続き、早朝健診・総合健診・出前健診・協会けんぽのタイアップ健診等を、感染予防対策の徹底を図りながら実施しました。

こうした取り組みやワクチン接種事業の推進とともに受診者の回復傾向が見られ、前年度比4,482件、18.1%増の29,264件となりました。

## ウ 子ども健診

市内の小学校1年生、4年生及び中学校1年生の児童・生徒を対象とした主要事業の学校心臓検診は、前年度とほぼ同数の13,883件となり、子ども健診全体でも、前年度比3,188件15.4%増の23,850件となりました。

## (2) 健康支援事業

### 健康支援事業実施件数

(単位：件)

保健指導区分	令和3年度		令和2年度		増減	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	増減率(%)
特定保健指導	864	24.8	749	24.8	115	15.4
その他の事後支援事業	2,616	75.2	2,270	75.2	346	15.2
合計	3,480	100.0	3,019	100.0	461	15.3

特定保健指導については、指導対象者の負担軽減のため住民健診及び事業所健診において、健診と同日に初回面接を実施したことやコロナ禍であることを鑑み、オンラインによる面接等を実施したことにより、前年度比115件増の864件となりました。

また、その他の事後支援事業については、感染症対策を徹底しながら、必要な指導勧奨を行い、前年度比346件増の2,616件の実施となり、健康支援事業全体では、前年度比461件増の3,480件の実施となりました。

## (3) 新型コロナウイルスワクチン接種業務

希望する市民の皆様に対し、速やかに新型コロナウイルスワクチン接種が受けられるよう市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会等の協力を得、医療従事者や事業所職員等を対象とした集団接種会場を49日開設し、延べ12,974人にワクチン接種を実施しました。

## (4) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

### ア 栃木県がん集検協議会精度管理部会へのデータ提供

令和元年度の宇都宮市集団検診における発見がん追跡調査後のデータを活用し、宇都宮市民の各がんの傾向をまとめるとともに、令和2年度の発見がん追跡調査を実施し、栃木県がん集検協議会精度管理部会へデータの提供を行いました。



イ 「保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり事業」への参画  
厚生労働省のモデル事業である「保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり事業」に参画し、住民健診の受診者を対象に生活に関するアンケート調査を実施し、調査結果を取りまとめ、データの提供を行いました。

(5) 普及・啓発活動

ア 各種健診の受診率向上への取り組み

① 事業団建物及び検診車両等を利用した市民への周知

市民の皆様が、健康診断を受診する契機とするため、各種運動月間等に合わせて横断幕や掲示ボードを事業団建物及び各検診車両に掲げ、広く市民の皆様にも周知しました。

掲示期間	内 容
4月	健康診断受診勧奨
5月	禁煙
6～8月	健康診断受診勧奨
9月	がん征圧
10月	乳がん
11月	糖尿病

② ピンクリボン運動月間における乳がん検診の普及啓発活動

10月のピンクリボン運動月間を利用し、健診会場や新型コロナワクチン接種会場において、乳がん検診PRポケットティッシュを配布し、乳がん検診のPRを行いました。

③ 宇都宮市図書館広告掲載事業への参加

宇都宮市立図書館の返却用しおりに健康診断受診勧奨の広告を掲載し、図書館利用者へコロナ禍における受診控えが軽減されるよう、普及啓発を行いました。

④ イベント等への参加

・ 宇都宮地区ゼロ災運動研究会への参加

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で恒例のイベントが2年連続で中止となる中、オンラインによる宇都宮地区ゼロ災運動研究会において、「コロナ禍における健康管理」というテーマで保健師が講話を行い、宇都宮地区ゼロ災運動研究会の会員である18事業所に向けて健康管理の意識向上を図りました。

実施日	出向先	参加事業所数
令和3年8月6日	光陽エンジニアリング株式会社	18事業所

・ うつのみや人づくりフォーラムでのPR活動

宇都宮市が主催する第14回うつのみや人づくりフォーラムの職業紹介「わたし・ぼくのなりたい未来」において、協力企業として保健師の職業紹介を行い、健診センターの保健師活動をPRしました。

イ 結果データの活用

市内の小中学校児童・生徒を対象に実施した令和3年度心臓検診の結果データを基に統計資料を作成し、令和3年11月に市内小中学校養護教員宛に配布しました。

ウ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

※ 元気アップ通信・ヘルスアップレター

テーマ：①「コロナと肥満の関係性」②「おうち時間が増えたあなたへ(間食の

摂り方)」③「免疫力を高める生活習慣」④「コロナでメンタル不調になっていませんか」

#### (6) 精度管理の向上

##### ア 健診スタッフの技術の向上

人間ドック学会等が主催する各種研修会に保健師等がオンラインにて参加し、資質の向上に努めました。

##### イ 内部精度管理の充実

日常的に使用する各種検査機器が確実に稼働し、正確なデータを確保できるよう日々の始業点検や保守点検を徹底するとともに、再現性の検証等を定期的の実施しました。

##### ウ 外部精度管理の受審

全国労働衛生団体連合会が主催する胸部エックス線検査、腹部超音波検査、血液検体検査、労働衛生検査の外部精度管理を受審し、「良好」の評価を得ました。

#### (7) 安全管理の徹底

##### ア リスクマネジメントの推進

健診業務におけるヒヤリ・ハット事例を検証し、原因分析、防止対策等の検討を組織的に進めるとともに、その結果を職員及びスタッフへ周知し、事故防止への意識の向上を図り、安心・安全な健診の実施に努めました。

##### イ 個人情報保護対策の強化

重要な個人情報を取り扱う健診機関として、健診受診票等帳票類や検査データ等の個人情報文書類を安全かつ適切に管理するため、情報処理室への入退室管理の徹底を図るなど、個人情報の適正管理に努めました。

#### (8) 経営の安定化

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受診者の減や、人件費をはじめとした健診実施コストの上昇などの課題が顕在化し、健診センターの経営を圧迫していることから、当センター内において受診率の向上や経費の削減など、安定的な事業運営のための検討を継続的に行っています。

#### (9) 新健診システムの構築

令和4年4月からの新システムの本格稼働に向け、事業所等のニーズを踏まえ、経年管理や多角的な分析を行い、効率的な事後指導や各種相談・勧奨ができるよう、事務手続きや書式などの見直しを行うとともに新システムによる検証作業を行い、円滑で適切な運用が可能な体制を構築しました。

### 3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育環境の充実や教員の資質向上を図るとともに、生徒の技術力の強化や臨地実習の指導の充実のため、効率的な教員配置などに努めました。また、意欲ある生徒確保を目的とした広報活動を積極的に実施しましたが、少子化や看護系大学の増加による全国的な准看護学校の応募者・入学者減の傾向はコロナ禍も加わり回復せず、本校においても、令和4年度生の受験者は、前年度より3名増加するも33名にとどまり、入学生は24名となりました。定員に対する学生数は、平成29年度から、連続して定員を下回る状況にあります。

#### (1) 教育実施状況

学年	人数 3年4月  (人)	教育科目（座学講義）				臨地実習		教育実施 時間合計  (時間)	
		基礎 科目	専門基礎 科目	専 門 科 目	合 計	講師数	実 習 時 間		実 習 施 設
		国 語 外 国 語 音 楽 そ の 他	人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 そ の 他	基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護					
1年生	22	105	305	415	825	50	238	13	1,063
2年生	19	0	80	250	330		497		827
合 計	41	105	385	665	1,155	50	735	13	1,890

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、臨地実習は受入れ不可や期間短縮の施設が多く、不足分は学内実習で対応した。

#### (2) 生徒確保対策の強化

ア 学校訪問、県内のハローワーク（15か所）、市・町のひとり親家庭に対する自立支援担当課及び福祉関係・生活保護担当課（25か所）の訪問をはじめ、県内の児童養護施設や母子生活支援施設所管の社会福祉法人ほか、宇都宮市内の保育園を訪問し、情報提供を行うとともに、子育てサロンにポスター掲示を依頼しました。

イ 学校見学会を年3回（8月休日、9月休日、11月休日）実施しました。

ウ 生徒募集について、県内の高等学校、宇都宮市内の中学校、宇都宮市医師会及び宇都宮市内の福祉施設に募集要項を配付したほか、インターネットによる募集や学校ツイッターの活用、宇都宮市広報紙及びタウン情報紙への掲載などにより情報発信に取り組みました。

エ 入学金や授業料等に係る生徒の経済的負担の軽減策としての貸与・給付や返還免除などの国や県の給付金や修学資金制度について、訪問先、学校見学会参加者、来校者に向け丁寧な制度の周知に取り組みました。

(3) 教育環境の充実

- ア 准看護師教育のカリキュラムの改正を内容とした保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正を踏まえ、令和4年度入学生から新カリキュラムでの授業を開始できるよう教育科目の編成作業に取り組みました。
- イ 生徒指導、相談体制の強化を図るため、栃木県カウンセラー協会の認定カウンセラーによるカウンセリングを月2回実施し、生徒が健全な環境の中で勉学に励めるよう努めました。
- ウ 学習能力や家庭環境に問題を持つ生徒の個別相談、保護者との面談を行うとともに、個々の特性に合わせた指導を実施しました。

(4) 教育内容の充実

- ア 専任教員の資質の向上及び教育力の強化のため栃木県看護系教員協議会主催の下記の研修に参加しました。
- ・ 夏期研修会（オンライン開催）、2月研修会（オンライン開催）
- イ 講師及び実習指導者との緊密な連携の推進を図るため、例年8月及び3月に実施している実習指導者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

(5) 実践活動の充実

例年2年生を対象に、准看護師としての見聞を広め、感性を豊かにすることを目的として実施している研修旅行は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行うとともに、栃木県看護協会が実施する看護学生への就労指導啓発事業を利用し、同協会理事による特別講義を実施しました。
- イ 就業支援を行い、看護師学校進学者4名を除く就職希望者13名全員が県内の医療機関に就職しました。

(7) 生徒の状況

ア 1年生の状況

	人数	備考
生徒数	22	入学者 21名（受験者数 30名） 留年者 1名
進路変更等	3	退学者 3名
進級者	19	

イ 2年生の状況

	人数	備考
卒業生	17	
うち准看護師試験合格者	17	合格率 100%
(卒業生の進路)		
看護師学校進学者	4	進学率 23.5%
看護師学校進学兼就職者	0	
医療機関就職者	13	就職率 100%
就職活動中・他分野進学	0	
その他	2	休学者 1名, 退学者 1名
合計	19	

ウ 令和4年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語, 一般教養, 作文, 面接

	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推薦入試	令和3年10月26日 (一般教養・作文・面接)	4	3(3)	/
一般入試(第1回)	令和3年12月7日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	19	15(13)	
一般入試(第2回)	令和4年1月25日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	4	3(3)	
一般入試(第3回)	令和4年3月8日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	6	6(5)	
合計		33	27(24)	1.22

※ 令和4年度入学生 24名

#### 4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書を整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。

また、授業計画に基づく講義や、病院、介護施設・障害者施設における実習を実施しました。3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

学生の確保については、市内の歯科医院に加え県内の歯科医院に学生募集案内のポスター掲示を依頼したほか、新聞広告にオープンキャンパスの特集の掲載やJ R宇都宮駅や東武宇都宮駅構内に学生募集ポスターを掲示、歯科衛生士PRカードの配布など広報活動の強化に努めました。

##### (1) 教育実施状況

学 年	人 数 3年4月  (人)	教育科目（座学講義）					合 計  (時間)	講師数  (人)
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修分野			
		英語 生物 心理学 その他  (時間)	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他  (時間)	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他  (時間)	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科  (時間)			
1年生	50	105	204	471	30	810	35	
2年生	43	30	30	105	45	210	11	
3年生	49	15	198	423	30	666	10	
合 計	142	150	432	999	105	1,686	56	

臨地実習 (施設臨床実習及び介護施設実習含む)		教 育 実 施 時 間 合 計 (時間)
実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	
—	—	810
765	41	975
135		801
900	41	2,586

(2) 学生確保対策の強化

- ア 入学案内のため、推薦指定校等へ学校訪問、資料送付しました。
- イ オープンキャンパスを7回（7月、8月、9月）実施しました。
- ウ 栄美通信主催進学相談会のほか、栃木県内の学校等で開催される進学相談会に参加しました。
- エ 広報活動の充実を図るため、下記の取り組みを実施しました。
  - ・ 県内の歯科医院等へ学生募集ポスターを送付
  - ・ 宇都宮市内の全中学校に学生募集ポスターを送付
  - ・ 宇都宮市広報紙へ学生募集案内を掲載（10月、1月）
  - ・ インターネットによる学生募集の広報
  - ・ 新聞広告による学生募集の広報
  - ・ JR宇都宮駅、東武宇都宮駅構内等に学生募集ポスターを掲示
  - ・ 歯科衛生士PRカードの配布

(3) 教育環境の充実

- ア 授業用プロジェクターの購入、口腔内撮影用カメラの購入、教室マイク・スピーカー設備の更新など教育環境の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため、講師・指導教員打合せ会を開催し、実習内容等について協議を行いました（参加者105名）。
- イ 国家試験合格率の向上を図るため、国家試験特別講義や補講を実施しました。
- ウ 新入学生を対象として「入学前教育プログラム」を実施し、学習習慣の維持や国家資格取得に必要な基礎学力の育成を図りました。

(5) 実践活動の充実

- ア 通常の講義に加え、「病院実習における心構え」、「シャープニング」、「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。
- イ 「フッ化物塗布事業」や「歯の健康教室」へ参加しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 歯科衛生士の資格を習得させ、地域の医療機関等へ積極的に就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に努めました。
- イ 11月より就業支援を行い、就職希望者49名全員が就職しました。

(7) 学生の状況

- ア 1年生（第44期生）の状況

	人数	備考
学生数	50	入学者 50名（受験者数 79名）
進路変更等	2	退学者 1名、留年者 1名
進級者	48	

イ 2年生（第43期生）の状況

	人数	備 考
学生数	43	
進路変更等	3	退学者 3名
進級者	40	

ウ 3年生（第42期生）の状況

	人数	備 考
卒業生	49	
うち歯科衛生士国家試験合格者	48	合格率 98.0%
卒業生の進路		
医療機関就職者（歯科衛生士）	48	就職希望者 49名（就職率 100%）
医療機関就職者（歯科助手）	1	
就職活動中	0	
他分野進学	0	
その他	0	
合 計	49	

エ 令和4年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合、適性検査、面接

試験区分	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
A O 入学	令和3年 9月26日	26	20 (20)	
推薦・特別入学	令和3年10月14日	24	23 (23)	
一般入学(第1回)	令和4年 1月20日	6	4 (3)	
一般入学(第2回)	令和4年 2月13日	2	2 (2)	
一般入学(第3回)	未実施	—	— (-)	
合 計		58	49 (48)	1.18

※ 入学定員 50名

※ AO入学（アドミッションズ・オフィスの略）

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り、学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。



## 5 その他の事項

### (1) 理事会に関する事項

会議名	開催(議決) 年月日	件名
第1回 理事会定例会	令和3年 5月28日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 令和2年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専門学校臨床実習施設の変更について 議案第4号 令和3年度第1回評議員会定時会の招集について
第2回 理事会臨時会	令和3年 6月24日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団常務理事の選定について
第3回 理事会臨時会 (決議の省略)	令和3年 7月26日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第2号 令和3年度第1回評議員会定時会の招集について
第4回 理事会臨時会	令和3年 8月5日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事長の選定について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮准看護高等専修学校校長の承認について 議案第3号 宇都宮市夜間休日救急診療所副所長の承認について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団健診センター副所長の承認について
第5回 理事会定例会	令和3年 12月21日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 令和3年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第2号)について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団就業規則の一部改正について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮准看護高等専修学校学則の一部改正について 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専門学校学則の一部改正について 議案第6号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団ハラスメントの防止に関する規程の制定について
第6回 理事会定例会	令和4年 3月24日	議案第1号 令和3年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第3号) 議案第2号 令和4年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画及び収支予算

### (2) 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決) 年月日	件名
第1回 評議員会定時会	令和3年 6月24日	議案第1号 令和2年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について
第2回 評議員会臨時会	令和3年 8月5日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について

## (3) 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和3年6月24日,8月5日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	令和3年9月1日

## (4) 栃木県知事に対する届出等に関する事項

届出年月日	事項
令和3年6月30日	事業報告等の提出
令和3年9月24日	変更の届出(役員等の変更)
令和4年3月30日	事業計画書等の提出

## (5) 役員等に関する事項(令和4年3月31日現在)

役職名	人数	氏名	備考
理事長	1	松本 国彦	令和3年8月5日就任
副理事長	1	北條 茂男	
常務理事	1	齋藤 英彦	令和3年6月24日就任
理事	7	増山 哲茂	
		遠藤 秀樹	令和3年8月5日就任
		北條 雅人	令和3年8月5日就任
		高野澤 昇	令和3年8月5日就任
		小久保 雅司	
		齋藤 高藏	
		神林 博明	
監事	2	佐藤 行正	
		高島 一彦	
評議員	11	菅家 透	
		野間 重孝	令和3年8月5日就任
		高橋 映夫	
		廣瀬 誠	
		酒井 典久	令和3年6月24日就任
		緒方 秀徳	
		阪口 勉	
		杉本 育夫	
		宮崎 務	
		高橋 郁夫	
		江田 和宏	令和3年8月5日就任
合計	23		

(6) 職員に関する事項 (令和4年3月31日現在)

職名 部門	事務局長	次長	課長 学科長 主幹	課長補佐 GL副主幹 副主幹	係長 GL主査 教務主任 主査	主任	主任書記 主任技師	書記 技師	専任教員	嘱託員	合計
	事務局	(1)									1
総務課			1		1		2	1			5
救急診療所			1		2	1				1	5
健診センター											0
事業推進課			1	2	4	2	3	4		2	18
健診課			1	2	7	1	6			1	18
准看護学校			1 (1)		1				2	1	5
歯科衛生士学校			(1)	1		1			2	2	6
合計	0	0	5	5	15	5	11	5	4	8	58

※ 事務局長、准看護学校学科長及び歯科衛生士学校学科長は嘱託員（括弧内の数字）である。